

きょうのこんだて

1がつ16にち

みるくぱん
かぶのくりーむに
つなかぼちゃ
ぴくるすさらだ



きょうのポイント

だいこん

古代は於朮泥と呼ばれていましたが、大きな根を食べる野菜という意味から、室町時代には大根と呼ばれるようになりました。ヨーロッパではラテン語の「ラディクス(根)」から、英語のラディッシュやフランス語のラディなどが生まれました。古代エジプトでは、ピラミッド建設の労働者に大根を食べさせたという記録が残っているそうです。大根はとても歴史が古い野菜ですね。



1がつ16にち きょうのたべもの

